

ペーパーレス化のため記事の全文をwebで公開しております。ぜひご覧ください！



特集

持続可能で強靱な 「幸せを感じて幸せを生きるまち」を 次世代へ引き継ぐ

大橋福知山市長に聞く 脱炭素社会への取組



将来をみて、何をすべきか常に考えてSDGsに取り組むまち福知山市。今回はその福知山市の大橋市長に、脱炭素を進める福知山市の施策と、その施策を進める背景にある市長の思いをインタビューしました。

宣言はきっかけ、
何をすることが重要
「再エネ・省エネ」
を進める

市民にも、社員にも！ ゴーヤ先生と一緒に広がった 環境活動の輪

今回は土田真奈見さん

福知山市みどりの親善大使である「ゴーヤ先生」の産みの親、土田真奈見さん。福知山環境会議の副代表として、また、エスペック株式会社のサステナビリティ推進本部の環境管理部長として、日々活躍されています。

地元の人たちも会社の社員さんたちも巻き込む活動について、お話をお聞きました。



第10期推進員
府内各地で
活躍中！

クイズ

気候変動の緩和がうまく進まない場合に（SSP5-8.5 シナリオ）孫世代は、祖父母世代が生涯に遭遇しないような暑い日を、一生涯に何回経験するでしょうか？（日本の場合）

（1960年から2040年まで生きる祖父母のもとに、2020年に孫が生まれ、孫は2100年まで生きるというケース）

- (1) 4回程度 (2) 40回程度 (3) 400回程度



答えのページはコチラ



持続可能で強靱な「幸せを感じて幸せを生きるまち」を次世代へ引き継ぐ 大橋福知山市長に聞く 脱炭素社会への取組

Q、なぜ、脱炭素に取り組むのでしょうか？

◆未来に引き継ぐ！

そもそも我々行政は、このまちを次世代にあるいは未来に引き継いでいかなければならないという思いで行政としての取組をしています。未来に引き継ぐと言っても、取り巻いている環境問題も含めて、きちんと引き継げる状態にしていかなくてはなりません。持続可能性という観点では、環境問題、とりわけ温暖化防止が重要です。ただ、

地球温暖化に対しては、基礎自治体が何かをして平均気温を下げられるといったものではなく、地球規模で取り組むことが必要ですが、基礎自治体が率先垂範となって進めていく事で、市民の皆さんの共感を得ながら、まちぐるみで対策を進めていける状態にしていきたいと思っています。

続きは web へ! ▶▶▶



記事全文が掲載された
web ページはコチラ

市民にも、社員にも！ ゴーヤ先生と一緒に広がった環境活動の輪 第10期推進員 府内各地で活躍中！ 今回は土田真奈見さん

■みどりのカーテンは「楽しい、見てもキレイ、涼しい、ゴーヤも食べられる！」

福知山といえば、『ゴーヤ先生』と『みどりのカーテン』がパッと思い浮かびます。「みどりのカーテンは、入り口としては簡単で、取り組みやすいんです。そこから環境のことに興味を持ってくれた方が増えたのかな、と思っています。それに、10年以上続けてきたからこそ、こんな風に広まってきたと思います」と土田さん。

ゴーヤ先生が誕生したのは2007年。福知山環境会議の年配のメンバーの方に、これからみどりのカーテンを増やしていきたいから、紙芝居を作って小学校で出前授業してもらえない？と言われたことがきっかけだったそう。

続きは web へ! ▶▶▶



記事全文が掲載された
web ページはコチラ

当センターでは、インターネットを活用した情報発信を充実させ、紙資源の節約を図っています。



フェイスブック



ライン



YouTube



ツイッター



インスタグラム



←バックナンバー
ホームページ→



KCFCA
Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

ADDRESS : 〒604-8417
京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

TEL : 075-803-1128 (代)

FAX : 075-803-1130

E-mail : center@kcfca.or.jp

URL : https://www.kcfca.or.jp

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。